

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	演技研究Ⅱ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	40時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	台本・台詞原稿・パワーポイントデータ等を使用。参考資料として「立ち位置の法則」				
担当教員情報					
担当教員	オーハシヨースケ・平野真悟・城田浩司・佐々木彩	実務経験の有無・職種	有 俳優		
学習目的					
<p>役者が行う演技・演劇とは、「人間」を演じることである。様々な個性・感性・考え方を持つ他者と会話をし、理解し合うことで、コミュニケーションスキルを身につけると同時に、「人間」を研究し、知ることによって演技の幅を広げていきます。また、作品鑑賞・オーディション講座を通して、他者からの見られ方を研究し、セルフプロデュース力を高めます。</p>					
到達目標					
<p>全員と会話をする。グループワークを通して、協調性を養う。相手の状況・立場を考えながら、自分の意見を話すことができるようになる。演技パターンを増やし、広げていく。対策講座を経て、オーディションに臨む心構えを学び、プロフィールの完成を目指します。</p>					
教育方法等					
授業概要	この授業では、グループワークを多く取り入れる。前期前半は、コミュニケーションスキルの向上を目指し、後半では、オーディションに臨むための知識を習得、実演する。後期では、業界研究・作品鑑賞を通して、演技の幅を広げ、エチュードを使って稽古・発表を行う。				
注意点	遅刻・欠席をしない。自発性・主体性。他人への思いやり。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	70%	積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。		
	レポート	30%	振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	作品鑑賞①	同タイトルの舞台作品と映像作品を鑑賞し、それぞれの特徴を理解する			
2回	作品鑑賞②	ドキュメンタリー作品から、芸能界での生き方を感じる			
3回	業界研究①	現場マネージャーの話を聴いて、役者の仕事を深く理解する			
4回	業界研究②	業界スタッフの話から、ピックアップされるための心構えを持つ			
5回	作品鑑賞③	名作・時代ものを鑑賞することで、興味・表現方法の幅を広げる			
6回	作品鑑賞④	舞台発表を鑑賞し、映像作品とは異なる舞台作品の良さ・特徴を考える			
7回	業界研究③	アニメ・放送業界について学びます			
8回	作品鑑賞⑤	邦画と洋画（リメイク版）を鑑賞し、表現方法の違いを理解する			
9回	作品鑑賞⑥	邦画と洋画（リメイク版）を鑑賞し、表現方法の違いを理解する			
10回	エチュード①	グループ毎、作品を選択し読み合わせをしながら、それぞれのポジションを決定する			
11回	エチュード②	読み合わせを繰り返し行いながら、なるべく多くのアイデアを出し合う			
12回	エチュード③	粗立ち稽古。様々な設定・シチュエーションを演じ、より良い表現方法を模索する			
13回	エチュード④	中間経過発表。一旦、本番同様に演じてみることで、改善点を見出す			
14回	エチュード⑤	全員で改善点に向き合い、発表本番に向けて準備する			
15回	エチュード⑥	発表本番。成果の確認			